デジタル製品技術文書情報－第 5 部：3DA モデルにおける幾何公差の指示方法

JIS B 0060-5：2020

令和 2 年 3 月 23 日　制定

日本産業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業標準調査会標準第一部会 基盤技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
（委員会長）	奈　良　広　一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
（委員）	伊　藤　納　奈	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	江　前　敏　晴	筑波大学
	大久保　友　恵	レンゴー株式会社
	大　谷　聖　子	一般財団法人日本消費者協会
	大　平　由紀子	日本製紙株式会社
	柿　本　章　子	主婦連合会
	金　田　　徹	関東学院大学
	重　松　康　夫	一般財団法人日本規格協会
	鈴　木　知　道	東京理科大学
	高　橋　かより	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	田　原　江利子	王子ホールディングス株式会社
	中　本　文　男	Na 計測合同会社
	野々瀬　菜穂子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	渕　田　隆　義	元女子美術大学
	古　谷　涼　秋	東京電機大学

主　務　大　臣：経済産業大臣　　制定：令和 2.3.23
官 報 掲 載 日：令和 2.3.23
原案作成協力者：一般財団法人日本規格協会
（〒108-0073　東京都港区三田 3-13-12　三田 MT ビル　TEL 03-4231-8530）
審　議　部　会：日本産業標準調査会　標準第一部会（部会長　酒井　信介）
審議専門委員会：基盤技術専門委員会（委員会長　奈良　広一）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1　E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625）にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 1
4　幾何公差の指示方法 2
4.1　一般事項 2
4.2　公差記入枠 4
4.3　公差付き形体 4
5　データム 8
5.1　データムの指示方法 8
5.2　データムターゲットの指示方法 11
6　限定した指示 12
6.1　限定した領域への指示方法 12
6.2　特定の位置への指示方法 13
7　突出公差域 14
附属書 A（参考）デジタル製品技術文書情報（DTPD）スコープマトリックス 16
附属書 B（参考）要素間連携 17
解　説 19

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，産業標準化法に基づき，日本産業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について，責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた日本工業標準調査会の審議等の手続は，不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により，日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

JIS B 0060 の規格群には，次に示す部編成がある。

JIS B 0060-1 第 1 部：総則

JIS B 0060-2 第 2 部：用語

JIS B 0060-3 第 3 部：3DA モデルにおける設計モデルの表し方

JIS B 0060-4 第 4 部：3DA モデルにおける表示要求事項の指示方法－寸法及び公差

JIS B 0060-5 第 5 部：3DA モデルにおける幾何公差の指示方法

JIS B 0060-6 第 6 部：3DA モデルにおける溶接の指示方法

JIS B 0060-7 第 7 部：3DA モデルにおける表面性状の指示方法

JIS B 0060-8 第 8 部：3DA モデルにおける非表示要求事項の指示方法（予定）

JIS B 0060-9 第 9 部：DTPD 及び 3DA モデルにおける一般事項（予定）

JIS B 0060-10 第 10 部：組立 3DA モデルの表し方（予定）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業規格　　JIS B 0060-5：2020

デジタル製品技術文書情報－第 5 部：3DA モデルにおける幾何公差の指示方法

Digital technical product documentation—
Part 5: Indication of geometrical tolerancing for 3D annotated model

1　適用範囲

この規格は，**JIS B 0060-1** に基づき，一般機械，精密機械，電気機械などの工業分野で用いる 3DA モデル（3D annotated model：三次元製品情報付加モデル）の設計モデルに設定する表示要求事項の一つである幾何公差の指示方法について規定する。

注記 1　この規格における 3D 指示例は，軸測投影保存ビューだけではなく，任意の方向でコンピュータモニタなどに表示した例も含んでいる。

注記 2　この規格では，一部の図に二次元製図による指示例（以下，2D 指示例という。）を参考として記載している。

注記 3　この規格と各製造工程との関連範囲を，**附属書 A** に示す。

2　引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0021　製品の幾何特性仕様（GPS）－幾何公差表示方式－形状，姿勢，位置及び振れの公差表示方式

JIS B 0022　幾何公差のためのデータム

JIS B 0060-1　デジタル製品技術文書情報－第 1 部：総則

JIS B 0060-2　デジタル製品技術文書情報－第 2 部：用語

JIS B 0060-4　デジタル製品技術文書情報－第 4 部：3DA モデルにおける表示要求事項の指示方法－寸法及び公差

JIS B 0672-1　製品の幾何特性仕様（GPS）－形体－第 1 部：一般用語及び定義

JIS Z 8114　製図－製図用語

3　用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は，**JIS B 0021, JIS B 0022, JIS B 0060-2, JIS B 0672-1** 及び **JIS Z 8114** による。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。